

# 私学へようこそ！

～私立学校初任者研修東北地区研修会のご案内～

特集

講義と省察くワークショップでの学びく

ワークショップによる学びとは・参加者の声  
講師からのメッセージ・委員からの歓迎の言葉



令和3年度参加者で、ワークショップBグループ3班こと『肉チーム』の先生方。ポーズと笑顔が素敵です。勤めている学校はそれぞれ異なりますが、2泊3日の研修会で築き上げた絆は、この筋肉と同じく鋼に匹敵する強さを誇ります。

私立学校初任者研修は私立学校に新たに採用された先生～教員歴5年程度の先生を対象とした研修会です。東北地区研修会は青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島の各県から毎年多くの先生方が参加し、研鑽を積んでいます。



令和4年 8月3日（水）～8月5日（金）

仙台ガーデンパレス（宮城県仙台市）



参加をご希望の場合は、別紙「実施案内」の参加申込書を  
日本私学教育研究所宛に郵送またはFAXで送信してください。

写真提供：宮城県観光プロモーション推進室

一般財団法人

日本私学教育研究所

-The Education Institute for Private schools in Japan-

私立学校初任者研修地区研修会については、研究所HP  
や動画等での紹介もっております。詳しくは右記の  
QRコードからご確認ください。



## 参加者の声

私学教員は他校の先生と交流する機会が少ないうえ、近年はコロナ禍で校内の先生との交流も少なくなっていると思います。私立学校初任者研修東北地区研修会は、東北各県の様々な先生と一緒にワークショップ（グループワーク）や交流をすることができる貴重な機会です。普段は学校での職務に追われ、なかなか話すことのない教員としての在り方・考え方など多くのことについて意見を交わすことができます。

講義では私学人としての心構えや授業づくり、保護者対応、発達障がいのある生徒への対応などを学ぶことができました。講義終了後にはグループの先生と講義の内容について議論を交わします。全講義終了後には全体発表会があり、グループで議論したことを発表することで、他のグループでどのような議論が行われたかを知ることができます。

講義や他校の先生との交流を通して知見を広げ、今後に活かすことができる良い機会となりました。今回の東北地区研修会で得た知見や経験をこれからの教育活動に還元できるように、頑張っていきたいと思います。



令和3年度 参加者  
日本大学山形高等学校  
星名 始 先生  
(情報科)



←最終日にはグループ毎に、ワークショップで話し合った内容について発表を行います。正解はありません。けれども、他のグループの意見を元にさらに学びを深めることができます。

## ワークショップ後の発表

東北地区の「ワークショップ」は、実施するグループ内だけにとどまりません。研修会最終日には「グループ報告」の時間があり、「ワークショップ」の時間にそれぞれのグループが話し合った内容を、全体の前で報告します。

これにより、「個人↓グループ内↓研修会参加者全体」と、徐々に規模や視野を広げつつ、研修会で取り扱ったテーマについて、他校からの参加者の具体的な取り組みや実践を知ることができます。同時に、普段の自身の教育活動を振り返ることで、今後の教育活動につなげることがができます。

「省察」・「実践」と聞くと、既にお読みになった先生がほとんどかとは思いますが、『ドナルド・ショーンの『省察的実践とは何か』や『専門家の知恵―反省的実践家は行為しながら考える』などを思い浮かべる先生もいるかもしれません。自身の行為を省察し実践を通して知識を生成する新しい専門職：。自らの教育活動という「行為」を省察し、ワークショップで大いに学び、終了後には多くの「実践」をしてください。それが「教師」という「専門職」における学びとなります。東北地区研修会がそのきっかけとなれば幸いです。そして皆さんが「東北地区の私学を盛り上げる一員」となってくれば嬉しいのです。

## 私学の仲間とのネットワークを大切に

さて、難しい話をしてしまいましたが、堅苦しく考えなくても大丈夫です。研修会に参加したら、まずはこの東北地区研修会で出会った私学の仲間を大切にしたいと思っています。研修会終了後も連絡が取れて、情報交換ができるような・支え合えるようなネットワークを作ってほしいと願っています。

私学では公立とは異なり、常にチャレンジする姿勢が必要だと考えます。転勤が無いのはじつくりと働けるメリットがあると同時に、マンネリを生み出すことにもなります。そんな時、研修会で作ったヨコの繋がりが、マンネリを打破する大きな力となります。同じ「私立学校の世界」で働く仲間同士が学び合える場・交流を深める場・これからの私学の発展を担う初任者がコミュニケーションを図る場として、初任者研修があるととっても過言ではありません。

難しいことは考えず、まずはぜひ研修会に参加してみてください。東北地区の仲間が皆さんを温かく迎えてくれますよ。



↑閉会式では修了証が授与されます。参加された先生方のこれからの活躍を期待しています！





↑ワークショップのワンシーン。ご覧ください！この真剣な表情を！東北の先生方の「温かい人柄」だけでなく、内に秘めた「教育への熱い想い」が伝わってきませんか？

### 東北地区研修会、最大のポイント

私立学校初任者研修地区研修会は、全国を十五地区に分けて、毎年6月～8月にかけて実施されています。

それぞれの地区に様々な特徴がありますが、東北地区研修会の最大の特徴がワークショップです。東北地区では平成28年から毎年行われており、研修会全体の約50%が、この「ワークショップ」の時間となっています。

研修会参加前に提出する「ワークショップ事前レポート」も含まれば、かなりの時間を「ワークショップ」に費やすこととなりますが、何故ここまで「ワークショップ」に力を入れているのか。もちろん、それにはきちんとした理由があります。その理由を知ること、「校長先生に言われたから仕方なく参加するんです」という、ちょっと後ろ向きな先生でも、充実した研修会にすることができるようでしょう。

### 講義とワークショップが連動

「研修会」と聞くと、「講師の話を聞く」というイメージを誰もが持つことと思います。もちろん、東北地区研修会でも講師の先生による講義はあります。しかし、単に講義を聞くだけでなく、「その講義の内容に即したワークショップを行う」というのが、東北地区の特徴です。

まず事前レポートで普段の教育活動を振り返りつつ自分の考えをまとめます。次に研修会で講師の講義を聞いて理解を深めます。そして講義後のワークショップでグループの仲間と話し合いを行うことで、事前レポート作成時の自分の考えや、講義で学んだ事柄をアウトプットしたり・共有したりすることを通して学びを深めていきます。

このように講義と連動したワークショップを通じて、普段の実践を踏まえつつ省察的に学びを深めることができます。



↑もちろん、研修会はワークショップだけではありません。私学に勤める「私学人」のための講義など、様々な講義があります。



↑講義を受けたら、その後にその講義の内容についてワークショップを行います。講義を受動的に聞くだけでなく、ワークショップを通じて能動的に学びます。

# 講師からのメッセージ

## 研修4「発達障害—特に読み書き障害の

背景とその支援」担当

尚綱学院大学 小池 敏英 特任教授



中・高等学校生に対する支援の難しさは、生徒の持つ困難が多様である、という点にあります。生徒は、中学校やその先の学校生活について不安感を持つと、学校生活に対して消極的になり、その結果、困難の軽減や改善への取り組みに対して、積極的な姿勢が難しくなります。

今回の講座では、特に読み書き障害の背景とその支援について述べます。読み書き困難の背景要因に関する研究から、言語性ワーキングメモリの関与が大きいことが分かってきました。これより言語性ワーキングメモリの弱さに対する支援は大切です。教材の視覚的イメージを高めることにより、言語性ワーキングメモリへの依存が減り、習得が容易になります。講座では具体的な手続きについて説明いたします。

# 委員からの歓迎の言葉

一般財団法人日本私学教育研究所

私立学校初任者研修地区運営委員（宮城県）

仙台城南高等学校 校長 伊藤 俊



令和4年度の私立学校初任者研修東北地区研修会を仙台市で開催いたします。

これまで、各私立学校は建学の精神のもと、独自の特色ある教育を掲げ、地域や生徒・保護者から信頼される学校教育はもとより、次代を担う人材の育成に努めてきました。

しかしながら、社会や教育を取り巻く環境が急速に変わろうとしている状況にあり、これまでパイロット役として役割を果たしてきた私学教育に対する期待は益々大きなものとなっています。

学校を支えているのは組織であり、それを構成している先生方一人ひとりの力量です。今後、学校を支えることになる東北地区の若い先生方が、勤務校は違うものの一堂に会し、自分が考えるこれからの私学教育の在り方や将来の教師像などについて互いに語り合うことは大変有意義であり、まさに初任者研修会の狙いです。

仙台七夕まつりを間近に控えた杜の都仙台で、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

一般財団法人 日本私学教育研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階

TEL : 03-3222-1621 FAX : 03-3222-1683 研究所 HP : <https://www.shigaku.or.jp>